

た なか でん し えい

田中 田士英

(田中 英二)

* 明治 8年3月 9日 長崎市生まれ

* 昭和18年2月 2日 没 (68歳)

○ 略歴

小学校教師を務めながら、20歳の頃から俳句に親しむ。

- 明治34年 (26歳) 「文庫誌友の会」を結成し句会を開く。
その後、「半夜会」・「金谷会」・「伽俱津知会」を結成し、
長崎の俳壇の指導者として活躍する。
- 明治43年 (35歳) 河東碧梧桐が来崎し、句作を共にする。
- 大正 4年 (41歳) 句集「ナガサキ」（明治35年から大正3年までの長崎俳壇の
作品を集録精選したもの）を発行する。
- 大正 6年 (43歳) 22年勤続の小島小学校から磨屋小学校に転任するが、小島
小学校の保護者や同窓生の復帰運動によって、半年後に復帰する。
- 大正11年 (48歳) 高濱虚子が来崎し、歓迎句会に参加したのを契機に、定型俳句に
復帰する。石橋忍月らと「あざみ会」を結成する。
- 昭和 4年 (55歳) 俳誌「太白」を創刊し主宰する。昭和19年2月までの15年間、
全国的にも特色のある俳句雑誌として発行が続けられる。
- 昭和24年 島原市安養寺に句碑が島原巢立句会によって建立される。
後に、句碑は白土湖畔に移される。
- 昭和30年 長崎市小島小学校校庭に小島同窓会の手によって句碑が
建立される。

○ 主な句集

ナガサキ（大4） あざみ会俳句選集（昭元）
田士英句集（昭10） 続 田士英句集（昭50）